

平成25年度施策評価調書

整理番号	32
評価担当課	健康福祉部 保健センター

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	地域における食育の推進		
総合計画の位置づけ	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
	主要施策	6	食育の推進

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	地域における食育の推進においては、食に関わる各食育推進団体と連携を図り、一人ひとりが健康的な食生活の実践ができるよう、健康づくりの視点から食育の推進を図る。特に、妊娠期からの栄養管理や乳幼児期の食生活を円滑に進めていけるよう、栄養・食に関する正しい情報を提供し、望ましい食習慣の土台作りを目指していく。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	妊娠期・授乳期の栄養について理解し、正しい食生活が送れるよう、初妊婦および希望の経産婦を対象に「お母さん教室」を開催し、栄養に関する講話や料理教室を行なった。乳児期においては楽しく、安心して離乳食がすすめられるよう「離乳食教室」を開催した。また、食育推進団体と協働し「食育セミナーと料理教室」を開催した。
施策の課題	近年の情報社会の中で、健康や食に対する関心や意識は高まっているが、長年の食習慣の改善は大変難しいと思われる。氾濫する食情報の中で、方向性に偏りがなく、食品や情報を選択する力が身につくような支援が必要である。さらに効果的な食育推進が図れるよう、食育推進団体と協力しながら食育実践に向けた取組みを継続する必要がある。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H22	H23	H24	目標年度 (26年度)
食育に関する教室に参加した人数	「食育セミナーと料理教室」、「お母さん教室」、「もぐもぐ離乳食教室」の参加人数	目標値	200	200	200	1,600
		実績値	140	156	188	
		進捗率	70%	78%	94%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	妊娠期から乳幼児期を中心とした、正しい食習慣の土台づくりに向けた食育を推進するため、食育推進団体と連携を深め、事業の定着が図られている。また、実施回数拡大と継続実施により指標が概ね達成されていることから順調と判断した。	A:計画目標に向けて順調に推移 B:計画目標に向かって概ね順調 C:計画目標に向けて進捗はやや遅れている D:計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

食育推進団体と協働しながら今後も対象者に合わせた取組みを継続していく。

6 外部評価の意見等

各教室とも平日の開催であるため、仕事で参加できない人もいる。土曜日開催等も検討してほしい。

7 2次評価の意見等

食育推進団体との協働により、地域に根差した活動を展開しており、今後も対象者に合わせた取組みが必要。

8 施策を構成する事務事業

(1)H24年度実施事業

事業 番号	事務事業名	事業の概要	H24決算額	1次評価						外部 評価	2次 評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	食育に関わる教室	食育推進団体と協働し、講話・料理教室等を行い正しい食生活が送れるよう支援する。	128	a	a	a	a	a	A		

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)